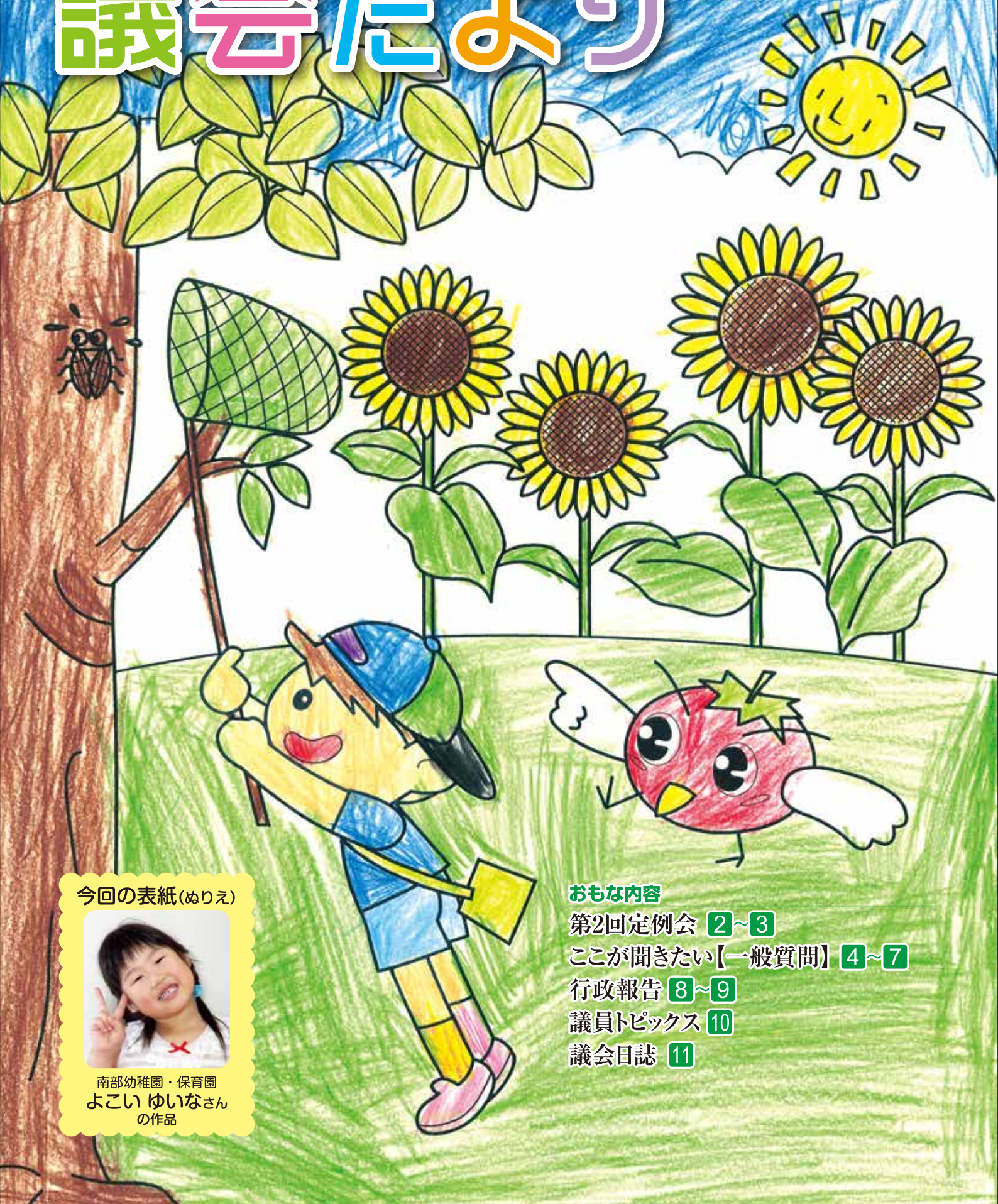


きそさき 議会だより

VOL. **84**
2015
平成27年8月1日発行



今回の表紙(めりえ)



南部幼稚園・保育園
よこい ゆいなさん
の作品

おもな内容

第2回定例会 **2~3**

ここが聞きたい【一般質問】 **4~7**

行政報告 **8~9**

議員トピックス **10**

議会目誌 **11**



平成27年

第2回

木曽岬町議会定例会

平成27年第2回木曽岬町議会定例会は、6月12日から19日までの8日間の会期で開催されました。

今回の定例会には、補正予算案、条例改正案などの議案6件、報告案件3件、発議案2件の、合わせて11件の議案等が提出され、その審議が行われました。

会期日程における審議等の内容は次のとおりです。

12日の開会日には、会期の決定を行った後に加藤町長から行政報告を受け、その後、議案6件を上程し町長の提案理由説明と所管課長の詳細な説明を受けました。次に、報告議案3件が上程され、提案理由説明と詳細説明を受け、初日の審議を終えて散会しました。

17日には一般質問が行われ、3名の議員が質問に立ちました。(質問内容の要約は「ここが聞きたい一般質問」に掲載) この一般質問を終えた後に、議案および報告案それぞれの質疑が行われ、審議を経た後に散会しました。

19日の最終日には、初日に上程された議案6件について、討論・採決を行い、原案のとおり可決されました。次に、議員からの発議案2件を上程し、1件は質疑の後に継続審査に、1件は質疑・討論・採決を行い、原案を否決し、第2回定例会を閉会しました。

議事内容

可決した議案 ◎執行部提案

議件名 (議案の内容)

■議案第37号

平成27年度三重県桑名郡木曽岬町介護保険特別会計補正予算(第1号)について

※既決予算額に歳入歳出それぞれ400千円を追加し、予算総額を410,400千円とする補正予算です。

今回の補正は、介護保険法の改正に伴い、低所得の方の保険料軽減措置に伴う予算の配置並びに制度改正周知のための関係経費などで増額の補正が行われています。

■議案第38号

平成27年度三重県桑名郡木曽岬町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)について

※既決予算額に歳入歳出それぞれ633千円を追加し、予算総額を113,633千円とする補正予算です。

今回の補正は、本年10月請求分より現行の下水道使用料の改定を行うため、使用料収入を増額すると共に、使用料改定に伴う啓発費や賦課にかかる電算システムの改修費などで増額の補正が行われています。

議件名 (議案の内容)

■議案第36号

平成27年度三重県桑名郡木曽岬町一般会計補正予算(第1号)について

※既決予算額に歳入歳出それぞれ446,000千円を追加し、予算総額を3,696,000千円とする補正予算です。鍋田川工業団地事業の清算金を木曽岬町土地開発公社より受け入れ、基本財産基金に440,000千円を積み立てるほか、新たな事業なども進められます。

主な補正内容は次のとおりです。

- 輪心乃里空調設備増設工事
1,296,000円
- 臨時福祉給付金
4,800,000円
- 子育て世帯臨時特例給付金
2,115,000円
- 道路改良費(雁ヶ地～福岡線農業用水管引替工事)
4,525,000円
- 空き家リノベーション支援事業費補助金
2,000,000円
- 夢とふれあい教育基金積立金
500,000円 など

議件名（議案の内容）

■報告第2号
平成26年度三重県桑名郡木曽岬町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について
※平成26年度予算のうち、繰越明許費として平成26年度へ繰越した予算48,079千円の繰越計算書の報告が行われました。
内訳として、地方創生関連事業費及び社会保障・税番号制度システム整備経費などが繰越明許費として繰越されています。

■報告第3号
平成27年度木曽岬町土地開発公社会計予算並びに平成26年度木曽岬町土地開発公社事業報告及び会計決算報告について
※地方自治法の規定により、町が出資している木曽岬町土地開発公社の予算、決算、経営状況などの報告が行われました。

議員提出議案

議件名（議案の内容）

■発議第5号
木曽岬町自治基本条例の制定について
※自治の基本的な考え方や、まちづくりに携わる各主体の権利や責務を明らかにし、互いに尊重し、町民が主体の自主自立のまちづくりを一層推進する趣旨で発議されました。なお、この発議案は「継続審査」となりました。

■発議第6号
「安全保障関連法案」の慎重審議を求める意見書について
※安全保障関連法案の審議にあたっては、国民の声に真摯に耳を傾け、国民が内容・課題・問題点を理解するよう慎重な審議を行うよう求める意見書の提出に関する発議がありました。

各議員の賛否

議案等の審議結果です。賛否の分かれた議案のみを表示しています。
○は賛成、×は反対を表示しています。

議案番号	議案名	議員名	服部 英二夫	伊藤 守	上村 幹夫	三輪 雅一	伊藤 律雄	伊藤 浩	伊藤 好博	伊藤 正	審議結果
議案第38号	平成27年度三重県桑名郡木曽岬町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)について		○	×	×	○	○	—	○	○	原案決
議案第39号	平成27年度三重県桑名郡木曽岬町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)について		○	×	×	○	○	—	○	○	原案決
発議第6号	「安全保障関連法案」の慎重審議を求める意見書について		×	○	○	×	×	—	×	○	原案不採択

他の議案は全会一致で賛成となりました。

議件名（議案の内容）

■議案第39号
平成27年度三重県桑名郡木曽岬町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)について
※既決予算額に歳入歳出それぞれ633千円を追加し、予算総額を113,633千円とする補正予算です。
今回の補正は、議案第38号と同様に、本年10月請求分より現行の下水道使用料の改定を行うため、使用料収入を増額すると共に、使用料改定に伴う啓発費や賦課にかかる電算システムの改修費などで増額の補正が行われています。

■議案第40号
木曽岬町夢とふれあい教育基金条例の一部改正について
※教育振興並びに創造性豊かな、ふれあい文化の町の形成に向けた取組に役立てて頂きたいと、町内の株式会社アイ・エヌ・ジー様より500,000円の寄付を受けましたので、これを基金に積立てるにあたり、本条例の一部改正が行われました。

■議案第41号
木曽岬町介護保険条例の一部改正について
※介護保険法の改正により、平成27年4月から公費を投入して低所得者の第1号保険料を軽減強化することを踏まえ、保険料軽減の対象者及び保険料を定めるものです。

報告案件

議件名（議案の内容）

■報告第1号
平成26年度三重県桑名郡木曽岬町一般会計継続費繰越計算書の報告について
※平成26年度予算のうち、継続費として平成27年度へ繰越した金額2,467,588円の継続費繰越計算書の報告が行われました。
内訳として、複合型施設建設事業における実施設計費、地域防災計画改定業務費が継続費として繰越されています。

※議長は裁決に加わらない。ただし、可否同数の場合は議長採決となります。
※紙面の都合で掲載を割愛いたしておりますが、反対討論並びに賛成討論の内容は、木曽岬町議会会議録(北部公民館にて公表)でご覧いただけます。

こころが
聞きたい

一般質問

この記事は、通告順に掲載し、
質問議員本人が作成した原稿を

議会広報常任委員会が編集したものです。

なお、掲載文は紙面の都合で要約されておりますが、
一般質問の全文は

木曾岬町議会会議録（北部公民館にて公表で
ご覧いただけます。

町政のゆくえは…

3名の議員が質問

ページ数

5

- 9 番議席 伊藤 正 議員
- 空き家への対策を
- 6 次産業実現へ運営委員会等の設置を
- 子ども議会での意見について

ページ数

6

- 3 番議席 上村幹夫 議員
- 複合型施設建設事業について

ページ数

7

- 2 番議席 伊藤 守 議員
- 少子化対策、定住化対策について

Q&A



一般質問



9番議席 伊藤 正 議員

空き家への対策を

空き家等対策計画の策定に努めていく

町長

質問

空き家対策特別措置法が本年5月26日に全面施行となりました。

そして、危険な「特定空き家」となる判断基準が示されているが、これにより当町内で対象となる民家の物件はあるのか。

空き家から物が飛んでくるとの声も聞きますが、町の対策はどのようなになっているのか。

答弁

県内の他市町とも情報交換しながら、空き家対策計画の策定を行っています。町内の状況は現段階では把握していませんが、所管課で対応していくこととしています。



【特定空き家 イメージ写真】

6次産業実現へ運営委員会等の設置を

情報収集と育成をサポートしていく

町長

質問

本年3月に創生ホールにおいて、農業×商業×加工の6次産業に関する説明がありました。視察を重ねていますが、事業は進んでいます。先進地である藤枝市では外部より委員を招き、6次産業運営委員会を設置して、より絞り込んだ計画をされ、新商品の開発や市場開拓などの活性化が進められています。参考にしてはどうか。

答弁

町内外の加工、販売関係者による情報交換を行い、人材や組織、団体の育成をサポートして行きたい。

再質問

町内でも、健康志向ブームの中で、黒にんにく等ブランドのきつかけづくりや仕組みづくりを進めるべきではないでしょうか。

子ども議会での意見について

効率的な財政運営を進める

町長

再答弁

いろんな活動をされている方もたくさんおみえですので、連携・協働して、具体的な取組みの中で、一つでも前に進めていきたい。

質問

本年2月に子ども議会が開催され、活発な議論が展開されました。

総じて65歳以上の高齢者が40%を超えるような未来への不安を感じる内容であったかと思っています。

高齢者を支えていく中で、莫大な費用のかかる複合型施設や道路整備等の借金は

次代を担う子ども達への悪影響となりかねないと考えますが、その点はどうか。

答弁

第5次総合計画の「暮らしを守り豊かな心と活力を育むまちづくり」に向け、諸施策の実施にあたっては投資効果を十分に見極めて、効果の高い施策を重点的に進めることで効率的な行財政運営を進めていきたいと考えています。

再質問

子ども議会の中では、図書館やホールについての質問はありませんでしたが、小学校等にも図書室などがありますが、学校へもこうした説明はされていますか。

再答弁

・教育長

町の広報紙を通じて、町内に周知をいたしておられます。今後は、図書館、活性化委員会を立ち上げ、町民の方がより多く利活用していただけるよう検討して参ります。



3番議席 上村幹夫 議員

複合型施設建設事業について

財源確保を図り進めていく

町長

質問

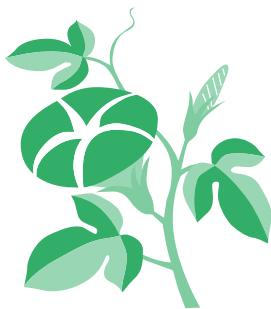
一般質問の機会に、先に町内に回付された公開質問状の項目に関して、町が示された回答について確認し、町民の皆さんに正確にお伝えいたくださうお願いしたいと思えます。

1点目として、『借入金はどうれ位予定しているのか。』との質問に対する町の回答で、『12億円の予定で償還金が交付税に算入される。』と書かれていましたが、12億円の借入の全ての償還金が交付税に算入される事ではなく、概ね70%程度と理解しているが、その点、答弁をいただきたい。

2点目として、『全国の市町村では図書館の運営に困っている。計画の年間運営費は。』との質問に、『人は司書と補助員の2人、光熱費は240万円程度。』と回答されていましたが、実際に運営していく中で、この程度の額で収まるとは到底

思えない。より明確なものを伝えるべきではないか。

3点目として、『庁舎の建設に必要な農道と排水路の用地買収に同意していない人があり、問題があると聞くが。』との質問で、『説明し、理解をいただいている。』との回答が書かれていましたが、どのように理解をいただいているのか、お伺いします。



答弁

1点目のご質問でございますが、地方債の借入額は幾らかとの質問でしたので、借入予定額を回答し、地方債の特徴を表現する対象事業名と交付税措置の有無をお答えいたしましたところでございます。概算で12億円の地方債をお借りし、元利償還金の70%が交付税算入されるわけでございますので、元金だけを単純に計算いたしましたも、8億4,000万円の財政支援を受けることとなります。

大変大きな財源確保ができたものと考えているところでございます。

次に、2点目のご質問は、図書館の運営費をお問い合わせいただきましたが、議会や建設委員会での報告が済んでおる人件費、光熱費の範囲で回答をさせていただきましたところでございます。ほかには、図書購入費などの備品購入費は別といたしまして、導入する機器にもありますが、図書貸出返却システムの使用料や一般的な消耗品などが必要と考えられます。

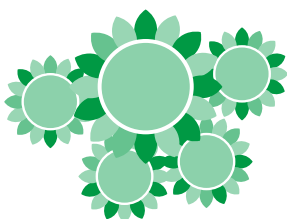
再質問

3点目のご質問ですが、関係地区の同意をいただいで進めてまいりましたが、一部の方に説明不足がありましたので、何度か面談をさせていただき、御説明をさせていただき、御理解をいただいております。

再答弁

政務統括監

お問い合わせのことについては、地区の同意はいただいでいたしましたが、一部の方に説明が至らなかったというようなことで、鋭意説明を続けさせていただきまして、4月10日ですけれども、御本人から御承諾をいただきました。



一般質問



2番議席 伊藤 守 議員

少子化対策、定住化対策について

愛着を感じていただけるような情報をさらに発信していく

町長

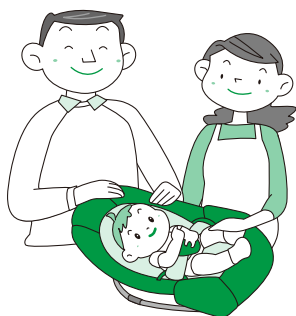
質問

少子化問題は、最優先課題であるところでも言っておられますが、この間、どのような施策を講じられましたか。わかりやすい表のようなものを作成して発信してほしいとお願いしました。

また、町長の言っておられる心豊かな子どもたちに育てていくために、どのような対策を講じていくのかお聞きしたい。

答弁

子育てサービスの情報をまとめたものとして、現在、木曽岬町親子支援ネットワーク会議において、木曽岬町親子支援マップを作成中です。医療や教育、子育てに役立つ情報をこれで紹介するとともに、マップを活用したイベントなど、木曽岬町のよさを再発見し、愛着を感じていただけるような情報発信していきたいと考えています。また、心豊かな子どもを育てていくための対策について、豊かな心とは、知識や体験を深め他人を思いやる心、生命や人権を尊重する心、自然や美しいものに感動する心、正義感や公正さを重んじる心などを捉えるものと考えています。



再質問

人口減少による影響をどのように考えていますか。例えば労働力が減少する、社会保障、税収減少、そういったものが必ず出てきますので、そうしたことを先の先まで考えて欲しいが。

再答弁

政務統括監

現在、取り組みを進めている中で、地方総合戦略を作る考え方があり、この中には5本の取組みがあり、1つは、現状のデータ解析、



この中には人口解析も当然含まれてきますので、町の人口動態がどのように、何を目的に動くかということ調査するということ仕事がつあります。次には、具体的な戦略を立てるという意味で、積極的な戦略と守っていくための町政の戦略を立て、指標を定めて具体的な達成度を評価しながら、5年間の具体的な施策を組んでいくというようなことになりま。この計画書づくりに近く入るための業者選定も行っています。

行政報告

(要旨)



加藤 隆 町長

行政報告として、今年の

3月の広報紙に紹介させて頂いた複合型施設建設計画について、先の5月に開催した第2回の区長会に於いて、特に財政面を分かりやすく説明して欲しいとのご意見があり、重ねての報告となりますが、まず、複合型施設の建設事業について報告させていただきます。

現在の役場庁舎は、公民館を転用した施設のため、利便性に乏しく、老朽化や耐震性の不足などの大きな問題を抱えていましたので、平成23年に基本構想に着手し、平成24年に基本計画、翌年に基本設計、昨年から実施設計に入り、現在、実施設計の納品を待つところでございます。

4年かかった計画づくり

には、町議会や学識経験者、住民の代表の方々に委員会へ参加をいただき、できる限り住民の皆様のご要望に応える計画づくりを進めてきました。

防災拠点機能を主体とした複合型施設の建設計画は、他の市町のように図書館、町民ホール等を単独で建設するよりも既存の保健センター、福祉教育センターと防災拠点となる行政棟との間に、教育文化棟を一体的に、まさに高台の津波避難施設となるもので、本町にとって必要最小限の施設を建設する計画であり、財源についても、高台の避難施設と防災拠点であることから「防災減災事業」として借入金の元利償還金の70%が、国から交付税算入され

る事業として認められました。しかも防災減災事業は、平成28年度までの事業となっております。

本町の財政状況も考え一体的に建設したほうが、利便性、機能性も高く建設コストの軽減、費用対効果は高くなると考えております。

また、防災対策は無論のこと各地で地方の衰退が懸念されるなか、地域の振興策として若い世代や子どもたちが、自分の住む町に魅力を感じ、未来に向かって希望が膨らむように、教育文化の意識を高める図書館や交流の場となる町民ホールの充実も喫緊の課題で、将来を見据えた人口定住化施策に不可欠と考えております。

町民ホールは、高台の津

波避難所であり、二次避難施設となる重要な施設となります。しかも補助事業で避難施設として建設した場合には、目的外利用はできませんが、町民ホールは、

普段は町民の皆さんに有効に利用していただき、万一の場合には、避難所となる訳で、図書館と町民ホール合わせて概ね6億から7億円の建設費であり、単独の避難施設と比べると費用対効果は著しく高いと考えます。

懸念された事業費は、概ね28億円を見込んでおり、この財源は、公共施設等を整備するために蓄えてきた基金と約12億円の地方債で賄うことができることとなりました。

この地方債は、再三にわたり内閣府に要望活動を重ね、大規模災害の防災対策が事業の対象となる「緊急防災・減災事業」の採択を受けたもので、元利償還金の70%が交付税に算入されることから、約8億4千万

円相当の財政支援を受けることとなり、大きな財源確保に繋がったものです。

町の地方債の借入残高は、平成26年度末現在で約30億円となりますが、このうち約21億円は国から交付税による財政支援があります。実質町が負担するのは9億円程度となります。

地方公共団体の財政の健全化を示す指標の一つに、将来負担すべき実質的な負債の比率を示す「将来負担比率」がありますが、三重県下29市町のうち負担比率の生じない8市町のなかに木曽岬町も含まれており、財政的に安定した状況と考えております。

一方、現在町が保有する基金の総額は、平成26年度末現在で約40億円となっております。

このうち複合型施設の財源には「公共施設等建設基金」及び「基本財産基金」を充当し、自治体の財政運営で最も重要とされ年度間の財源変動を調整するため

の「財政調整基金」19億円及び他の特定目的基金などは、留保する予定でございます。

事業計画では、供用後の維持管理費も考慮し、経費削減を念頭に、投資効果の高い有益な施設建設を進めてまいります。

今後、実施設計がまとまり次第、建設工事の発注を予定しております。町民の皆さんにおかれましては、この事業の趣旨を十分にご理解いただき、ご協力いただきますようお願いするものでございます。

次に、地方創生事業の取り組みでございますが、国は、昨年末に「まち・ひと・しごと創生法」を制定し、急速な少子高齢化、並びに地方の人口減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口一極集中化を是正するため、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を閣議決定いたしました。

国は、長期人口ビジョンとして2060年に1億人

程度の人口を確保することを目指しております。

本事業にあたり地方でも人口ビジョンを分析し、総合戦略を策定することで、中長期的視点にたって個々の課題を抽出し施策を講じていくこととなり、その推進財源が国から交付されることとなりました。

今年度の交付金の事業内容については、庁内に検討会議を設置し、消費喚起等の交付金については、「プレミアム付き商品券の発行」及び「子育て世帯への商品券の配布」、また、地方創生の先行型交付金では、この地方創生事業の根幹となり事業期間5年間の事業計画をまとめる「総合戦略策定事業」、4歳児の幼稚園、保育園の保育料を月々3千円助成し、子育て世代を応援する「4歳からのスタート応援事業」、妊婦から乳幼児世帯が、安心して暮らせるように感じられる「安心生活支援事業」、読書を通じて子どもの豊かな心を

育む人づくり推進のための「子育て環境整備事業」など、7つの事業について取り組むこととしております。

その中でも、地方創生を実現させるためには、今後5か年の総合戦略の策定が重要となってきます。

木曽岬町では、この戦略を策定するため幹部職員による「木曽岬町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進本部」を立上げ、まず今月にプロポーザル方式により策定専門業者を選定いたします。

そして、国が示す産・官・学・金・労・言の幅広い提案を取り入れるため、外部有識者による第三者委員会を設置し、内容審議を諮っていききたいと考えております。

また、下部組織として若手職員によるワーキンググループを立上げ、アドバイザー役として皇学館大学特命教授、「高校生レストランの仕掛け人」の岸川政之さんにもご指導いただき、

全職員あげて、地方創生に取り組んで参ります。

全体計画としては、10月頃までに骨子案をまとめ、来年2月の完成を目指しております。

若者が定住しやすい、子育て支援の充実した住み良い町づくりを目指し、今後

も議員の皆様方と連携を図りながら、この地方創生事業を推進して参りたいと考えておりますので、どうぞ

以上のことを申し上げます。して、行政報告といたします。

議会をぜひ、傍聴にきてください。

議会は、どなたでも傍聴することができます。

皆様の生活に直結した重要な問題が審議されます。お気軽にお越しください。

本会議の当日、庁舎2階の傍聴席入口で受付しています。受付は、ご住所とお名前を記入していただくだけです。

次回、9月定例会、
本会議の予定です。

- 9月 3日(木) 午前9時 開会、議案上程を予定しています。
- 9月 15日(火) 午前9時 一般質問を予定しています。
- 9月 18日(金) 午前9時 議案採決、閉会を予定しています。

なお、各日程等は変更する場合もございますので、お手数ですが議会事務局までお問合せいただきますようお願いいたします。

● 問合せ先／議会事務局 ☎68-6108

みなさまの
ご意見を募集して
います。

議会に対して、普段、感じていること、疑問に思うこと。また、要望など、どのような内容でも結構です。ご意見、ご質問をお寄せください。

● 提出先／議会広報常任委員会(議会事務局) ☎68-6108



木曽岬町議会の
LINE@ を登録しよう!!

左記QRコードを読み取り、木曽岬町議会のLINE@を登録すると定例会や各種委員会の情報を受け取ることができます！



町内一斉清掃活動に参加しました

6月7日(日)、「町内一斉清掃活動」に議員も参加し、主要道路などに落ちている空き缶などのごみ拾いを行いました。

環境美化活動の一環として、6月と12月の年2回実施されているこの町内一斉清掃活動には、例年、早朝より多くの町民の皆さんにご参加いただいております。地域周辺の美化に向けて積極的に取り組まれている姿を各所で見る事ができました。

暑い中お疲れ様でした。今後とも、地域の環境美化にご協力をお願いいたします。



平成27年度全国町村議会議長・副議長研修会が開催されました



5月26日(火)～27日(水)、東京都中野区の「中野サンプラザホール」で、平成27年度全国町村議会議長・副議長研修会が開催され、伊藤浩議長・伊藤律雄副議長が出席されました。

この研修会は、副題を「これからの町村議会を考える」として、初日には、「地方自治の母国に負けない我が国の町村議会」―ふるさと創生から地方創生へ―とした基調講演やシンポジウム、2日目には、「日本の健康の鍵は“農山・漁村”が握る」、「地方創生と政治・経済の展望」と題した各講演が行われました。両日ともに、全国の各町村より参加された約1,600人の議長・副議長により会場は熱気に包まれ、質疑では活発な議論が行われました。

改めて、地方の抱える課題の一つである少子化・高齢化への対応と地域の活性化を考える機会となりました。

行政視察を実施しました

6月19日(金)、木曽岬町議会第2回定例会の閉会後に、行政視察として川先防災備蓄倉庫の災害用備蓄資機材や非常食の保管状況を視察しました。資機材では、災害救助船舶(組み立て式)やゴムボートや救命胴衣、給水タンク、移動炊飯器、エアーテントなどの配備を確認し、非常食となるクラッカーやアルファ米、水、パン等の保存期限は5年間で、計画的に配備・更新が行われていることが確認できました。



議会日誌

2015 4月

- 20日●議会広報常任委員会
- 24日●桑名・員弁広域連合出納検査(桑名市)に三輪一雅議長出席

2015 5月

- 7日●議員懇談会
- 11日●議会運営委員会
 - 三重県町村議会議長会理事会(津市)に三輪一雅議長出席
- 12日●桑名広域清掃事業組合視察(御殿場市)に三輪一雅議長出席
- 15日●平成27年第1回臨時会開催、正・副議長改選
- 19日●平成27年度木曾岬町文化協会総会に伊藤浩議長出席
- 20日●例月出納検査に三輪一雅監査委員出席
 - 木曾岬町商工会総会に伊藤浩議長、伊藤好博総務建設常任委員長出席
 - 北勢5町議会議長会(朝日町)に伊藤浩議長出席
- 21日●木曾岬町社会福祉協議会第2回評議員会に三輪一雅議員出席
- 26日～27日
 - 平成27年度町村議会議長・副議長研修会(東京都内)に伊藤浩議長、伊藤律雄副議長出席
- 28日●木曾岬町土地開発公社役員会に関係議員出席
- 30日●木曾岬神社春季例祭に議員多数出席

2015 6月

- 1日●桑名・員弁広域連合第2回臨時会(桑名市)に伊藤浩議長出席
- 2日●木曾岬町青少年育成町民会議総会に伊藤浩議長出席
- 5日●議会運営委員会
- 6日●木曾岬町遺族会追悼法要に伊藤浩議長、服部英二夫議員出席

2015 6月

- 7日●町内一斉清掃に議員多数出席
- 8日●桑名地区生活安全協会総会(桑名市)に伊藤浩議長出席
- 10日●例月出納検査に三輪一雅監査委員出席
- 11日●2015年国民平和大行進(面談)に伊藤浩議長出席
- 12日●平成27年第2回定例会(初日)
 - 議員懇談会
- 17日●平成27年第2回定例会(一般質問日)
 - 議員懇談会
 - 議会運営委員会
 - 木曾岬町複合型施設建設委員会に伊藤律雄議員、服部英二夫議員出席
- 19日●平成27年第2回定例会(最終日)
 - 行政視察
- 21日●きそさきAZクラブ総会に伊藤浩議長、伊藤正教育民生常任委員長出席
- 23日●議員懇談会

2015 7月

- 3日●木曾三川公園建設促進下流域期成同盟会総会(桑名市)に伊藤律雄副議長出席
- 7日●桑名広域清掃事業組合議会臨時会(桑名市)に伊藤浩議長出席
- 8日●例月出納検査に三輪一雅監査委員出席
 - 平成26年度水道事業会計決算審査
- 10日●議会広報常任委員会
- 13日～14日
 - 三重県町村議会議長会理事会・行政視察(朝日町)に伊藤浩議長出席
- 14日・15日・16日
 - 平成26年度一般会計及び特別会計決算審査に三輪一雅監査委員出席

編集後記

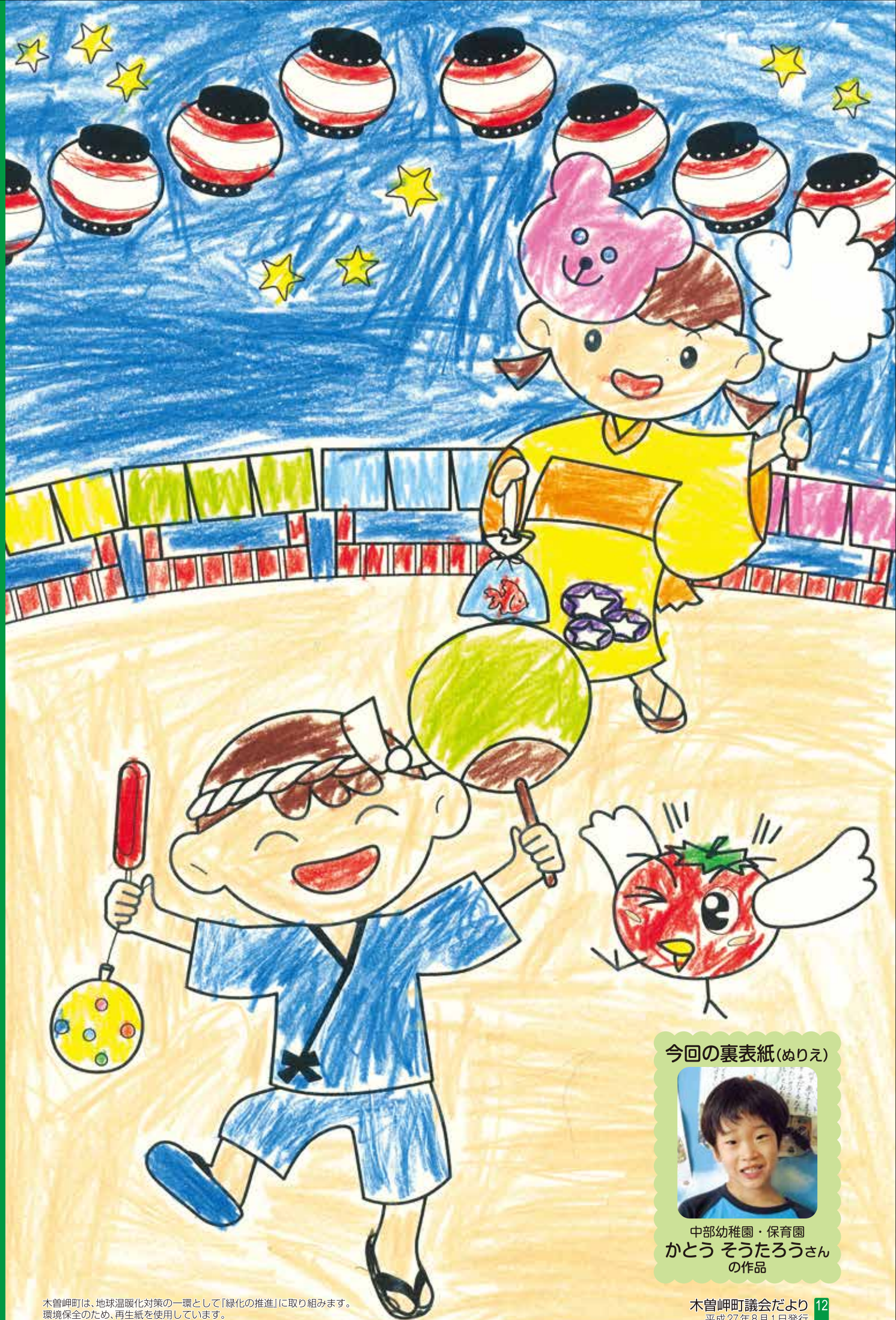
第42回先進国首脳会議「伊勢志摩サミット」が来年5月26日～27日に行われることが決定しました。その理由として、会場となる賢島が離島であること。三重県警察が伊勢神宮要人参拝時の警護の経験が豊富であることが挙げられていました。日頃、警護に就かれている方々に感謝すると共に、「三重県」を世界の人々に日本の文化や伝統と共にアピールすることができるとは喜ばしいことでもあります。

木曾岬町も町民の汗し涙した経験を土台として、未来の子ども達に良き伝統を残していきたいと思うところです。

ここに、第84号の議会だよりをお届けします。紙面へのご意見・ご感想をお待ちしております。

議会広報常任委員会一同





今回の裏表紙(めりえ)



中部幼稚園・保育園
かとう そうたろうさん
の作品